

求む！花好きの仲間たち

済生会神奈川県病院 「園芸クラブ」

地域活動を応援する

地域のわ通信

R4年11月
NO.81

過去の「地域のわ通信」は
こちらをご覧ください。



さまざまな病気や怪我をした人やそれを見舞う人が訪れる病院。無機質な病院に咲く花は、患者さんや地域の方の心を癒したり元気づけたりと、普段何気なく見る花とは違った意味を持ちます。そんな病院の花を手入れし育てている済生会神奈川県病院（以下、県病院）の「園芸クラブ」では、一緒に活動をしてくれる人を募集しています。代表の福岡靖元さんに話を伺いました。



▲④「園芸クラブ」の代表の福岡さん（写真前列右）とその仲間たち
①②③⑤⑥ 病院にある、手入れをされている花壇の様子

■ 園芸クラブは自由な活動が特徴です！

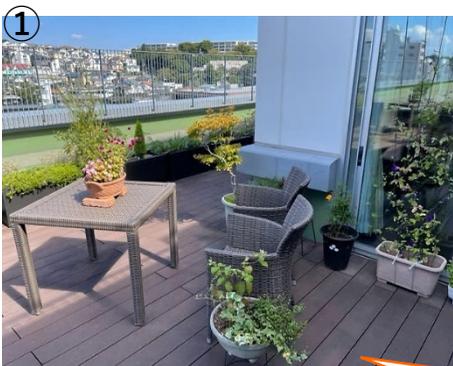
「園芸クラブ」が活動をスタートしたのは2007年。当時の看護師長さんの「病院に花があると、患者さんが花を見たり、小さなジョウロで水やりなどのちょっとした作業ができたりしますね」という一言から始まりました。

メンバーのほとんどは県病院の医師をはじめとした医療関係者です。その時々で入れ替わるものの、現在は9名で活動しています。月に1回の活動日には、

メンバーそれぞれが天気などを見て、できる時に参加をしています。

「活動の内容も特に決まりはなく、その日の気分で、それぞれがやりたい場所で活動をしています。雑草取りだけに集中する人もいれば、お花の手入れをする人もいて、自由に活動ができるのが特徴です」と、福岡さんは言います。

■病院にある花は病気や怪我で感じる孤独を癒すのです



ホスピタルスペースの花や植物は、患者さんが病院内で自然を感じられる唯一の場所。風が心地よく、たまに蝶々が飛んできています。

▲①② 緩和ケア病棟にあるホスピタルスペースの様子
③ 病棟の窓際からも花や植物が見えるように配置

県病院を訪れると入口付近や病院の周りなどにくつも花壇があります。治療に通う患者さん達のために、不安や辛さを抱える心に「ほっ」と一息つける空間を意識して、できるだけ四季を感じられる花や植物を育てているそうです。

「病院にある花や植物は、愛でる楽しみだけでなく病気や怪我で感じる孤独を癒したり、元気づけたりするのです」と、病院の花の特別な意味を福岡さんは教えてくれました。

特に病院内の緩和ケア病棟の入院患者さんにとって、花壇は四季折々の植物や昆虫たちと触れ合い、自然の息吹きを感じることが出来る貴重なものなのです。



「お花を楽しみにしています」と地域の方が声をかけてくれたり、お見舞いの帰りに気になることを話してくれたりします。通りに面した花壇は、患者さんだけでなく近隣の方にも楽しんでいただいています。



■地域に開かれた「園芸クラブ」にしたい!

「園芸クラブ」は15年目を迎えた今年、地域に開かれた活動にしていきたい思いを、改めて福岡さんにお聞きしました。

「これまで病院内の医療関係者だけで、できる範囲で花壇整備をしてきましたが、より多くの人に病院にある花の意味を知ってもらい、地域の方と一緒に花壇づくりをできたらもっと患者さんたちに喜んでもらえるのでは、と思うようになりました。

花の植え替えや雑草取りなどの花壇整備は人の手によるものがほとんどです。今年の夏から、ご家族が入院していた地域の方が活動に参加してくれるようになりましたが、まだ手が足りないのが現状です。

この病院内の花々が持つ大きな力・意味を知っていただき、地域の方にご協力いただけたら、こんな嬉しいことはありません」

地域に暮らす皆さんと医療関係者が一緒につくる病院花壇が花でいっぱいになり、病院を訪れる人々の癒しにつながれば、キラリと光る神奈川区の活動になりそうです。

花でつながる病院内の活動に、月に一度、2時間程度のみなさんの時間を活かしてみませんか?

Chikiryoku Up!

済生会神奈川県病院「園芸クラブ」の概要

活動概要	
日程	毎月第1土曜日 10時～(2時間程度) 当日晴れの場合は活動あり。 *雨天の場合は各自の判断で中止
場所	神奈川県富家町6-6 (JR「東神奈川駅」、京浜急行線「京急東神奈川駅」より徒歩5分)
内容	病院内の花壇の手入れ ・花苗の植え替えや水やり ・雑草の手入れ ・新たな花壇のデザイン
ボランティア参加条件	園芸が好きな方ならどなたでも
連絡先 (ボランティア希望の方)	済生会神奈川県病院 (患者支援室) 電話：045-432-1111 (担当：杉山)

まずはお電話を!